

日本の5名がWUSV 審査員試験合格！審査員資格のニュースタンダード



山田哲也（福岡）展覧会



益田晴夫（京都）訓練



山口郁夫（大阪）訓練



南郷牧子（神奈川）訓練



石原葉子（福岡）訓練



訓練審査員試験会場（左から、ヘンケ会長、ヴァルトリッヒ副会長、益田、山口）



展覧会審査員試験会場での山田哲也（展覧会と訓練は別々の会場）

6月12日、13日の2日間、ドイツ・アウグスブルクで開催された第2回WUSV 審査員試験に、事前の書類選考を通過した日本人5名がチャレンジし、セミナー、試験、面接テストをすべて合格して、見事、WUSV 審査員資格が授与された。

【審査員資格のニュースタンダード】

ヘンケ会長は試験前に「多くの国のFCI、WUSV加盟協会が、低い基準で審査員資格を与えることは、ドイツ・シェパード犬質の維持向上に悪影響を与えます。皆さんは、もし今回合格したらの話ですが（一同笑）、**WUSV お墨付きのハイレベルな審査員です**」と説明。

わが国のS犬界も、本来成るべきプロフェッショナルな人間は、時代にそぐわない協会のルールで排除され、審査員といえば『訓練所のお客さん』が、何年か審査員補助に就けば、訓練経験や繁殖実績がなくとも『いつの間にか審査員になれる』というのが主なパターンである。

【8年計画の成果】

ついに国内にWUSV公認のVA評価を出せる展覧会審査員とIPO訓練審査員が誕生した。このSV/WUSV審査員養成プロジェクトは、WUSV日本支部（現在はWUSVジャパンオフィス）から引き継がれたものである。2006年に犬界新聞社とWUSV日本支部とのコラボでSV審査員セミナーが神戸で開催され、益田晴夫氏が2007年から3年がかりで2010年にSV審査員に合格した。そして次に続く審査員志願者を公募して、今回のWUSV審査員5名合格という快挙に繋がった。

WUSV審査員はSV審査員と同じ扱いとなり、審査起用には8週間以上前にWUSVへの申請と許可を必要とする（自国内においては不要）。SVJでは今後も、SV/WUSV審査員の養成を続けるとの事。申込み方法や必要条件についてはSVJにお問い合わせください。

『WUSV審査員規定』

1. 目的

WUSV 審査員の活動はドイツシェパード犬世界連盟（WUSV）の重要な柱である。共通の目的意識および均一の審査活動によってのみ、訓練分野と解剖学（形態）の両面における、この犬種の有効な発展を世界中で確実なものにできる。

WUSV 審査員の包括的な実行経験と、長年にわたる深い知識は、ドイツシェパード犬の歴史に密に結びついている。WUSV 審査員は平均以上のクオリティーである。故に犬種の発展開発にポジティブな影響を与える。したがって、加盟各国における催し（試験、訓練競技会、展覧会）にはWUSV 審査員の起用が推奨される。



授与式後、ルックス事務総長、フェッテン氏と